

市民活動フォーラム2022

# リアルな交流しませんか？

淡海ネットワークセンターは今年設立25周年になります。この間、社会の課題も複雑化し、先が読めない不透明な時代に環境の変化もスピードが増しています。また、課題を解決するには多様な団体とのつながりも重要な視点になっています。

このような時代、もう一度、原点に立ち返り「交流」をテーマに市民活動フォーラムを開催します。

今回、地域における居場所づくりや子育て支援等に取り組んでおられるお二人をゲストスピーカーにお招きし、活動をはじめたきっかけや取り組む上で苦労・工夫したこと、地域や行政、企業等とのつながりづくりについて、お話しいただき、皆さんと交流を図りたいと思います。

**2022.11.27 (日) 13:30～15:40**

**場所：ピアザ淡海 2階 207会議室**

(滋賀県立県民交流センター)

**参加費：500円**(※200ピワコ贈呈) **定員：30名程度**

**参加対象**：地域活動に関心のある方、NPOや市民活動団体、行政職員、社会貢献に取り組む企業

**申込方法**：裏面のQRコード、電話、メール(〆切11/24)

お茶  
お菓子付き

## ゲストスピーカー

◆ 「ないないづくし」が人をつなげる・資源を見つける

～Café Ink MORIYAMAの取組を通じて～

守山市役所 健康福祉部 健康福祉政策課 参事 犬丸 智則 さん

◆ 地域の中で「ありがとう」がこだまする、暮らしと子育て

一般社団法人 暮らし育て組「ひだまり学舎」 代表理事 木田 桃子 さん

## 参加者からの活動紹介・交流会

参加者からの活動紹介タイムもあります。(希望者のみ2～3分)

会場では、展示ブースを設けて、県内の活動団体のチラシやポスターを展示します。活動を紹介したい！展示ブースにチラシを置きたい！という団体は、事前に淡海ネットワークセンターまで、ご連絡下さい。

活動紹介の申し込み〆切 11/17 (木)

(tel:077-524-8440 E-mail:office@ohmi-net.com)

主催：公益財団法人淡海文化振興財団

おうみ良うなる  
元気商品プロジェクト  
寄付つき商品の展示もあります。



## 【お申込み・お問い合わせ先】

淡海ネットワークセンター（公益財団法人 淡海文化振興財団）

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20（ピアザ淡海2F）

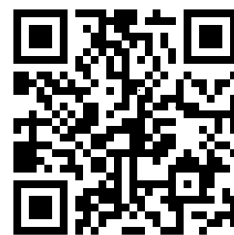
電話：077-524-8440 FAX：077-524-8442

申込フォームQRコード

<https://forms.gle/mwGzkte8HQruGr2H9>

ホームページ：<https://www.ohmi-net.com/>

e-mail：[office@ohmi-net.com](mailto:office@ohmi-net.com)



## 【プログラム】

13:15	開場・受付
13:30～13:40	開会
13:40～14:10	ゲストスピーカー 犬丸 智則さん
14:10～14:40	ゲストスピーカー 木田 桃子さん
14:40～14:55	質疑応答
休憩（10分）	
15:05～15:30	参加者活動紹介
15:40	閉会
	フリータイム（交流会）

（16:30まで会場は開けていますので、自由な交流の時間にお使い下さい。）

### フォーラムに参加すると・・・

- ・多様な活動を行う団体と交流ができる。
- ・活動を始めたきっかけや取り組む上で苦労・工夫したこと、地域や行政、企業等とのつながりづくりについて聞くことができる。
- ・地域における多様な世代の居場所づくり、子育て支援等についての取り組みを聞くことができる。
- ・社会貢献やSDGsに取り組む企業のヒントになる。

## 【発表者の紹介】



### 守山市役所 健康福祉部 健康福祉政策課 犬丸 智則 さん

民間企業勤務を経て、平成17年守山市役所に入職。

民間企業時代での「どぶ板外交」における企業経営者や市役所入職後に様々な市民、団体に出会う中で、全ての活動の原点は「ワクワク・楽しい」であり、誰もが何度でもチャレンジできるまちをつくることを通じて、自分らしい生き方の実現、多彩な社会の担い手の育成、地域の活性化という循環につながることを学ぶ。現在、その第1歩として、ゆるくふわっとつながる『Café Ink MORIYAMA』を官民連携で開設。一人ひとりのチャレンジを黒子として応援している。



### 一般社団法人 暮らし育て組「ひだまり学舎」代表理事 木田 桃子 さん

一般社団法人 暮らし育て組 代表理事。1988年生まれ、カリフォルニア育ち。同志社大学大学院総合政策科学研究科ソーシャルイノベーション研究コース卒業。2015年、結婚を機に地域おこし協力隊として、竜王で活動を始める。日本に古くから伝わる生活の知恵や地域の伝統の中に現代にも通じる豊かな暮らしのヒントがあると考え、何気ない日常の暮らしを見直し、育ててく場所としてひだまり学舎を設立。老若男女誰でも「お互いさま」精神で支え合い集える、第二の実家のようなコミュニティー作りを行っている。5歳の娘と2歳の息子、2児の母。

注1）ご記入頂きました個人情報、淡海ネットワークセンターの事業以外に使用いたしません。

注2）天候や公共交通機関の状況により、イベント開催が困難になった場合はホームページ等にて通知をいたしますのでご確認ください。

※「ピワコ」とは、スマートフォンなどで利用可能なコミュニティ通貨・まちのコインです。「円」とは換金性のない、まったくのオリジナル通貨です。お金では買えない「ちょっといい体験」をつうじて、地域や人がつながり暮らしが豊かになるサービスです。